

相模原市及び相模原市米軍基地返還促進等市民協議会による基地の返還等、米軍基地問題に関する要請の実施結果について(報告)

1 日 時

令和6年11月14日(木) 午前9時15分～午後3時

2 出席者

相模原市米軍基地返還促進等市民協議会

会 長：相模原市長 本村 賢太郎

副会長：相模原市議会議長 古内 明

相模原市自治会連合会会長 竹田 幹夫

連合神奈川相模原地域連合議長 川崎 晴彦

理 事：副市長、市議会副議長、市議会議員、地区自治会連合会会長

3 要請先及び対応者

要請先	対応者
在日米陸軍司令官 在日米陸軍基地管理本部司令官 (キャンプ座間)	在日米陸軍基地管理本部司令官 マーカス ハンター 大佐
在日米海軍厚木航空施設司令官 (厚木基地)	伊東 俊之 渉外担当民事部長 グレッグ ミッチェル 広報部長
駐日米国大使	安全保障政策課 サラ イー 書記官
防衛大臣	田中 利則 地方協力局長
外務大臣	藤井 比早之 副大臣
内閣府特命担当大臣(経済安全保障)	山野 徹 政策統括官(重要土地担当)

※横田基地に対しては、同日に要請書を郵送

4 主な要請内容

- (1) 米軍基地の整理・縮小・早期返還
- (2) 基地の機能強化・恒久化につながる施設建設や運用の変更を行わないこと。
- (3) 米軍機による騒音被害の解消・事故防止の徹底
- (4) 住宅防音工事等の騒音対策の充実
- (5) 事件・事故の防止
- (6) 周辺住民に不安を与える訓練の禁止等
- (7) 災害時における相互応援体制の確立

5 対応者の主な発言

【キャンプ座間】

- 要請内容については、適切な政府レベルで扱うよう在日米軍に伝達する。
- 土地の返還交渉は、全て日米政府間で行うものである。基地の機能強化、恒久化につながる施設整備や運用の変更に関する要請については、適切な政府レベルで扱うよう在日米軍に伝達する。
- ヘリコプターの騒音について、入学試験や日本の祝日はヘリコプターの運用を控えてほしいという要望は、南関東防衛局や神奈川県からも定期的に頂いており、できるかぎり要望に応えられるよう努力をしている。また、今後も要望に応えられるよう努力するとともに軍用機の安全確保を行っていく。
- キャンプ座間所属のヘリコプターについては、今後も定期的な点検及びメンテナンスを行い、日米両コミュニティの安全を第一とした運用に努めていく。
- ゴルフボールの飛び出しについては、大変深刻に受け止めている。昨年は、この問題を抜本的に解決するべく、5番ホールでの左利きゴルファーのティー使用及び全てのゴルファーの6番ホールのティー使用を禁止した。また2件の防球ネットの補修工事を行い、ネットの全交換や複数箇所の穴や破れを補修した。これらの対策が非常に有効であった。引き続き、防止策の有効性をモニターするとともに、評価していく。また、防球ネット支柱の安全に関する住民の懸念は、承知しており、安全を最優先事項に今後も定期的な安全点検を行っていく。
- 訓練については、有事及び人道支援・災害救援活動に備えるために行っている。日米安全保障条約に対する私たちの任務をご理解いただきたい。
- 災害時の相互応援体制については、その重要性を認識しており、災害に備え、日頃から協力していくことが大切である。
- 在日米陸軍基地管理本部司令官として、今回いただいた要請について真摯に受け止める。また、今後においても市とのコミュニケーションは、オープンで透明性があるものにしていきたい。

【厚木基地】

- 司令官のルクレア大佐をはじめ基地関係者は、相模原市との関わりについて高い関心を持っており、日頃から感謝している。
- 厚木基地の周辺地域及び日本国内における米海軍の航空機については、安全な運用に最大限配慮しており、今後も引き続き努力してまいりたい。

【米国大使館】

- 相模原市に米軍の基地を駐留させていただき、安定的に運用させていただいていることに感謝を申し上げる。
- 軍人特有の課題があることについて、米軍は承知しており、良き隣人として良い関係を築いていくことに努力してまいりたい。

- 米軍の運用については、二国間の合意に従って適切に対処しており、両国の良い関係を築くために努力している。
- 相模原市は、基地を受け入れている自治体として、重要な役割を担っている。このことは、同盟のパートナーとして、地域の安全に貢献していただいているということであり、相模原市を継続して支援していく。
- 地元から地域の問題に係る意見をいただくことは大変重要である。
- 駐日米国大使館も米国政府も相模原市の課題に関心を持っており、本日いただいた意見はしっかり伝えていく。

【防衛省】

- 地域に米軍基地を受け入れていただき、感謝している。
- 返還4事案については、市の道路整備に寄与するものと理解している。その上で防衛省としては、相模総合補給廠の北側外周道路について、既に新しいフェンスが完成しており、米軍と調整してまいりたい。
- 基地の機能強化について、昨今の我が国の安全保障環境は厳しくなっている。現時点で米軍基地の機能強化等について話はないが、米軍から話があれば適切に対応してまいりたい。
- 米軍ヘリコプターの騒音に係る苦情が地域で発生している状況について申し訳なく思っている。米軍に対してできる限り配慮するよう求めていく。
- オスプレイについて、昨年11月に発生した墜落事故は報告書を公表しており、必要な安全対策を引き続き米側に求めていく。
- 予防着陸は、大きな事故につながらないようにするための処置であるが、住民へ不安を与えており、引き続き米側に配慮を求めていく。
- 住宅防音工事については、空母艦載機の移駐後、騒音の実態にあわせるものであり、12月までに調査を行うが、関係機関に十分説明し、報道機関に情報提供するなど丁寧に対応する。
- ゴルフボールの飛び出しについては、これまで、コースレイアウトの変更、防球ネットの補修、ティーアップの禁止などの対策を行ってきた。地域住民に不安を与えないよう米軍に求めていく。
- 事件・事故の防止及び訓練について、過去に発生した倉庫爆発火災事故やESB検定などの訓練の実施については、地元の皆様が不安感を抱くことのないよう、米側に求めていく。
- 昨年、相模総合補給廠で九都県市合同防災訓練が実施されたが、災害発生時における在日米軍と地元自治体との連携は極めて重要であり、引き続き、防災体制の構築に向け全面的に協力していく。

【外務省】

- 米軍基地の安定的な運用のためには、地元の皆様の不安を払拭し、ご理解とご協力をいただくことが何よりも重要であると考えており、本日の要請事項についてはしっかりと受け止める。

- 返還4事案については、米側と協議を行っている。防衛省と連携して取り組んでいきたい。
- 米軍基地の周辺地域への影響を最小限にすることが重要であり、米側にしっかりと対応を求めていく。
- 騒音被害については、米側に申し入れを行っているが、今後も申し入れを継続していく。
- 米軍機の事故に関しては、住民の皆様には不安を与えないよう、オスプレイ等の安全確保について万全を期すよう、しっかりと要請していく。
- 日本の安全保障という観点において、日米同盟については強化とともに適切な管理に努めていく。

【内閣府】

- 重要土地等調査法については、住民や事業者への影響が最小限に留まるよう、基本方針に則り適切に運用していく。
- 重要土地等調査法の確実な実施のためにも、住民や事業者の方々の理解が非常に重要と考えている。周知が行き届くよう、広報活動をしっかりと行っていくことが内閣府の責任であり、コールセンターを開設し、個別の対応を丁寧に行っている。また、関係自治体等の協力の元、リーフレットを配布しており、ホームページには事業者向けの説明動画なども掲載している。